

2026
August
8
Vol.214

KOFU 議会だより

江府町議会
Youtubeは
こちらから



美しい田園風景を次世代へ！

水槽の中のおたまじゃくしと一緒に記念撮影

特集

住民懇談会

令和8年の第1回目の内容を徹底解説

レポート

令和8年度 町村議会議長・副議長
研修会(全国会主催)をおえて

目次

- ・ 住民懇談会 p2～3
- ・ 6月定例会 p4～6
- ・ 一般質問 p7～10
- ・ 全員協議会 p11
- ・ 委員会・一部事務組合 p12
- ・ 常任委員会 p13
- ・ 研修レポート p14
- ・ 臨時会・報告 p15
- ・ 私のひとこと 編集後記 p16

特集

6/2
(火)

住民懇談会 開催しました



(ご参加いただいた住民の皆さまからのアンケートを一部抜粋しています)

以前住んでいた自治体では、こういう機会はありませんでした。小さい町だからこそ、町民それぞれの声が聴けるのだと思いました。



町民の声を、
次の議会活動へ

1回90分の会議では、参加者、主催者共に時間不足で不完全燃焼な感じを強く持った。せめて「昼の部」「夜の部」に分けるなどの方法も検討いただきたい。



ワークショップ形式でもっとざっくばらんに全員が話ができるようにしてはどうか。



議論がかみ合わない点があったように思うので、最初の質問は、紙で出して議員さんの中で整理して懇談会に臨まれたらどうでしょうか。



お知らせ

次回住民懇談会は11月頃に開催予定。詳細は次号議会だよりでお知らせします。ぜひご参加ください。

今回いただいたご意見を踏まえ、次回以降は会の目的や進め方をより明確にし、さらに充実した運営を目指します。また、質問には議長が代表して回答するだけでなく、議員それぞれの意見を述べる場面も増やしたいと思います。なお、その場で回答できない内容については、議会だよりなどを通じてできる限り分かりやすくお知らせしていきます。

VOICE

参加者の声

(住民の皆さまからのご意見を一部抜粋しています)

予算



年々増加しているようだが本当にこれで大丈夫か
(財政:実質公債費比率が18%未満となる公債費の絶対額を示してほしい)

農業公社



議会や執行部は農業や公社の将来をどう考えているのか

農業



水路整備など目立たない作業の負担が大きい

地域交通



8年住民懇談会
朝晩にも時間を広げて通学などに使いやすいようしてはどうか

懇談会



意見交換がしやすいように進行を工夫してほしい・議員の私語が気になる

役場職員



会計年度職員が多数離職したようだがもっと人を大切にしているかどうか

お試し住宅



希望者に対して戸数が少なすぎるのでは

議会だより



誰もが読みやすい色使いにする必要があるのでは

～当日の質問への追加回答～

Q:実質公債費比率の算出には、特別会計・公営企業会計も含まれるか?

A:一定の範囲で含まれます。一般会計からの繰出金のうち、公営企業債の償還に当てられた額は含まれます。

※実質公債費比率(3か年平均)={(地方債の元利償還金+準元利償還金)-(特定財源+元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}÷{標準財政規模-(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)}×100



6月定例会

未来を創る「価値」と「繋がり」



[協定] 買い物支援の実証実験開始

丸合の商品が自宅へ。共同輸送とITの連携で支える、便利な暮らしの第一歩。

合同会社「えんちゃん」とアクシスITパートナーズが連携し、荷物の共同輸送を開始します。丸合などの商品を自宅や集会所へ届ける仕組みで、高齢者や買い物困難者の支援を強化します。日野郡全体への展開も視野に入れた先駆的な取り組みです。



[住民支援] 物価高騰対策の1万円応援券

「暮らしの支援」として、物価高騰の影響を緩和するための直接的な給付と、中長期的な負担軽減を目的とした税制改正が決定しました。

家計を支え、町内の消費を喚起するための「生活応援券」が、補正予算の成立を受けて配布されました。

- 支給額：全住民1人あたり 1万円
- 子育て世帯加算：18歳未満の子どもにはさらに1万円を加算(合計 2万円)
- 発送状況：迅速な支援のため、6月中に全世帯へ発送を完了しています。

江府町 第2弾 物価高騰生活応援券

日頃の生活を応援します！

物価高騰による家計への負担を少しでも軽くするため、町民の皆様に商品券をお届けします。食料品や日用品のお買い物を、地元のお店でのお食事など、暮らしに役立つ場面で幅広くご利用いただけます。町民の笑顔が増えることを願い、心を込めてお届けします。ぜひご利用ください。

10,000円分のお買い物ができます (500円×20枚)

見本 ¥500

●利用期間：令和9年1月31日まで

●利用範囲：江府町内(市内限定店舗)

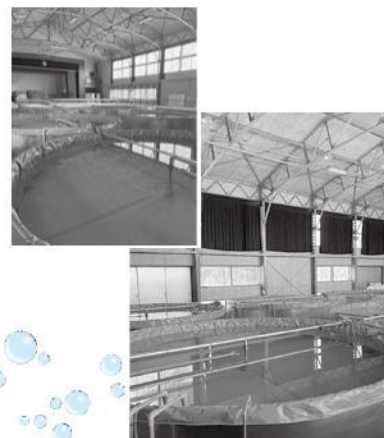
チラシ裏面に、「江府町物価高騰生活応援券」取扱店舗一覧表を掲載しています。ご確認ください。

●換金お釣り：換金不可及びお釣りはできません。ご承知おき下さい。

お問合せ 江府町商工会 ☎ 0859-75-2333

[産業] サーモン養殖で新たな特産品作り

地下水を活用した新特産品作りを目指す本事業に対し、「予算削除の修正動議」が提出されました。「民間企業の人件費を町(地域おこし協力隊予算)が負担する形であり、契約体系も未整備である」という指摘がありました。議論の結果、修正案は否決。町側は、国の財源を活用したブランド化と、将来的な雇用創出・納税額増加という大局的メリットを強調し、協力隊2名の募集を含む原案が可決されました。





[教育] 海外で学んだ学生の熱い思い

中学・高校生海外研修報告

台湾での起業家精神研修に参加した生徒から、「周りと協力してアイデアを形にしたい」という報告がありました。現地での街づくり体験が、次世代のリーダーとしての成長を促しています。



[補助・改修] 補正予算の決定

予算総額に歳入歳出それぞれ、5,965万6,000円を追加し、総額50億779万6,000円とする。

主な補正は次のとおりです。

農業公社運営補助金707万円、俣野ふれ愛学舎トイレ等改修工事519万5,000円、防災基地排水路改修工事567万2,000円



[条例] 改正

地下水採取に関する条例の一部改正

地下水を採取する場合は、吐出口が8cm以下のものに限り掘削できたが、今後は、吐出口が6cm以上のもので、審議会を経て町長の許可を受ければ、掘削が可能となるとし、他町の基準に合わせるようにした。

[農業] 11名が新たに農業委員会委員として任命



川上卓也氏（本一） 木谷篤氏（佐川） 桑原巧氏（大河原）
 松本良史氏（宮市） 大岩徹氏（下蚊屋） 高津孝司氏（御机）
 加藤直行氏（杉谷） 遠藤功氏（貝田） 浦部明郎氏（洲河崎）
 船越征子氏（宮の前） 藤原光広氏（尾之上原）

任命について執行部から提案があり、同意しました。





定例会注目の話題

解説



江府町地下水採取に関する条例の一部改正について(議案第54号)
反対討論、賛成討論が交わされました

「数値による一律の制約ではなく、地下水は天から授かった万民の宝、その恵みを最大限に活用することが町の存続に不可欠である」

賛成



川端議員

反対



前川議員

「改正の具体的な必要性がなく、また他自治体にはある定期報告・停止命令がない。これでは、条例主旨の“水資源及び湧水資源の保全”を後退させないか？」

議論の末、採決の結果は、**起立多数により原案通り可決**されました。
今後、町の宝である水がどのように管理されていくのか、審議会の役割がより重要になります。



令和8年度江府町一般会計補正予算(第2号)(議案第57号)
修正案が出されました(地域おこし支援事業費のうち、委託料915万4,000円のみ削除)

「運営事業者との契約類型が不明、公平性・透明性の欠如、公共事業としての基礎的な整理がない。これらが整理されてない段階での雇用負担を補填する人事予算は、適正ではない。」

修正案に 賛成



前川議員

修正案に 反対



芦立議員

「すでに進行局面にあり、募集を後回しにすることは致命的な停滞を招くリスクがある。事業を着実に推進するためには、現段階での予算措置と速やかな人員確保が不可欠である。」

採決の結果、**修正案への賛成は1名にとどまり、原案(町の提案通り)が可決**されました。

町民の 安心・安全 を守る

巧妙な詐欺師たちから町民を守るため町は何をするのか。



質問 町民の生命財産を守ることは、行政の最も重要な責務ではないか。

町長答弁 町民の皆様が安心安全に暮らせる環境を作ることは自治体の基本であり最も重要な責務であると認識しています。

質問 詐欺被害の事例研修やしおりの配布など速やかな実施が必要と考えるが。

町長答弁 町報では専用のコーナーを設けて毎月呼びかけを行っています。警察とも連携しながら啓発や防止、抑止に努めたいと思います。

質問 学園の授業に取り入れる対策の一つにしては。

町長答弁 日野川校舎では、家庭科の授業で消費者トラブルとその対策を学び、例年西部少年サポートセンターから講師を招き非行防止教室を開催しています、その中でネットトラブル回避や正しいSNSの使い方等について学習しています。



大型野生動物の危険から町民を守る

質問 大型野生動物との交通事故対策は。

町長答弁 出没多発地域に関しては看板設置や防災無線で注意喚起を行っています。

質問 クマの出没や錯誤捕獲の事例が増えている。早急な対策を。

町長答弁 クマよけの鈴は子供たちが通学時につけて鳴らしているし、大人もウォーキングなどの時には携帯されて

いるようなので自主的に対策していただきたいと考えています。



機械化の進む農作業を安心安全に行い活性化を図るために。

質問 農業公社が中心となり農業機械を輸送する組合組織を設立しては。

町長答弁 現状ではとても厳しい状態があります。作業受託についても小面積の農地は受けられない話も出るくらい人員体制が厳しく提案の実現は難しいと考えます。

質問 運送法上資格のないものは輸送を請け負うことが出来ないことをしっかりと知らしめることも行政の責務と考えるが。

町長答弁 今後、JAや警察、農業委員会などと連携しながら営農指導の集会や広報誌を通じて農家の皆様への周知、啓発活動を行う方向で検討してまいります。



奥大山スキー場周辺を **活用** した **自然共生型** 観光について



交流人口・関係人口の 拡大について問う



質問 江府町は、中国地方屈指の自然環境と豊かな水資源を有し、四季を通じて多様な魅力を持つ地域である。一方で、人口減少・高齢化の進行により、交流人口・関係人口の拡大は江府町の持続可能性を左右する重要課題となっている。奥大山スキー場周辺は、広大な自然空間、ブナ林、水源環境、冷涼な気候という大きな地域資源を有しており、一年を通じて自然と共生する観光拠点として利用価値の高い地域であり、その利用について構築する必要があると考えている。そこで、奥大山スキー場周辺を、一年を

通じた自然共生型観光・交流拠点として再整備していく考えはないか。

町長答弁 広大な自然空間の活用を地元関係者や関係省庁と協議を重ねる考えがあるが、結論を出すにはかなり時間がかかると思う。その間に奥大山自然塾の運営、パークレンジャーの活動により資源として価値を高める。必要に応じてクラウドファンディングにチャレンジし、十分に練ったうえで必要なものであるならば考えてみたい。

質問 木谷沢渓流や鍵掛峠など、現在高い観光ポテンシャルを持つ地域資源を奥大山古道とつなげてトレッキングコースとして整備する考えはないか。

町長答弁 現時点では考えはない。行政が前面に出て行うよりも、奥大山古道は民間主導で頑張られているので、それと合わせた形で活動できるようにすることがあれば、一緒にやっていく方法を検討してみたい。

質問 エバーランド奥大山をワーケーション施設として整備し、町内での長期滞在、二

地域居住により関係人口創出を推進する考えはないか。

町長答弁 ワーケーションに使うにはとてもいい施設だと思う。佐川地区に整備予定のコミュニティパークで保育園留学、ワーケーションはエバーランド奥大山という構想は持っている。今後の進捗状況を見極めながら考えてみたい。

質問 奥大山地域に生息する絶滅危惧種や希少な動植物について、観光開発や利用促進と両立しながら保全を図るため、調査・保護・利用ルールづくりを進める考えはないか伺う。また、生物多様性保全を地域価値として位置付け、既存の自然塾や環境教育、エコツーリズムへ活用していく考えはないか。

町長答弁 パークレンジャーが環境を守っていく意味合いの仕事をしているので、彼らがルールづくりや注意喚起をすることに期待をしている。豊かで貴重な自然を守り後世につないでいくことに重要な価値があると思うので、ぜひそういう方向で進めていきたい。



自然に触れ合える場所、木谷沢

質問 今後、民間事業者、地域集落、住民、観光事業者、大学等と連携した官民一体の推進組織を構築する考えはないか。

町長答弁 新たに組織を作るより奥大山自然文化協議会の活動を住民に紹介し、意見交換などから始めてみたい。今ある組織を使って活動していく。

より強固な防災・減災体制の構築について

市町村名	個別避難計画	文芸愛マップ
鳥取市	45.0%	15.4%
米子市	9.8%	24.9%
倉吉市	54.8%	55.4%
境港市	100.0%	13.1%
岩美町	19.5%	37.7%
琴浦町	1.4%	100.0%
智頭町	41.7%	71.3%
八幡町	9.8%	25.4%
三瓶町	0.4%	11.9%
湯梨浜町	2.5%	48.0%
琴浦町	1.0%	35.9%
北栄町	12.2%	30.2%
日吉津村	0.0%	57.1%
大山町	22.5%	19.9%
南郷町	2.8%	55.4%
伯耆町	100.0%	22.8%
日南町	32.8%	100.0%
日野町	18.2%	59.4%
江府町	9.2%	25.8%
鳥取県	30.4%	34.7%

R8.6 日本海新聞 参考

質問 江府町の災害時に支援が必要な避難行動要支援者の避難方法をまとめた個別避難計画の作成率は、8.2%で県内13番目、支え愛マップ作成率は26.8%で県内12番目になっているがこの作成率をどのようにあげていくのか。

防災・減災体制の状況について



2番議員

川端 裕

町長答弁 個別避難計画は、2025年11月の8.2%から現在は42.4%に上がっています。個別避難計画、支え愛マップは、単純に策定できるものではないが、江府町は小さな町なので、顔が見えるという利点を生かしながら、これから作る計画に実効性を持たせるようにしていきたい。

質問 江府町の災害用備蓄は現在どのくらいあるのか、その量は、災害時に十分に賄えるのか。

町長答弁 備蓄量は、県の連携備蓄基準で、整備率100%、保存食、スティック粉ミルク、トイレットペーパー、大人用紙おむつ、ブルーシートは連携備蓄100%の上乗せ分を備蓄、独自備蓄として、段ボールベッド、発砲マット、災害用テントを準備している。

防災基地、ブナの森校舎、保野ふれ愛学舎、総合健康福祉センターに保管している。

町長答弁 一般的に3日間分の非常食等は、各々で準備、その後1週間程度が自治体、県の連携備蓄、それ以上は、国、県外等からの救援物資対応になります。

質問 備蓄品のなかには、何年もそのままの状態置いてあるものがあるが、定期的に品質などの確認をしているのか。

町長答弁 しております。

質問 要望があった古い消火栓を年に一、二個替えていくのではなく、何年かで、例えば5年計画などですべてを交換する考えはないか。

町長答弁 数年間で、計画的に全て交換するとなると、多額の財政負担が一時的に集中するのでほかのインフラ整備、住民サービスに影響を及ぼすことが考えられるので、現時点では困難であるが緊急度、危険度の高い地域を優先的にリストアップし少しでも交換ペースを早めることが可能か検討したいと思います。

質問 今後より強固な防災・減災体制の構築を具体的にどう進めていくのか。



災害用備蓄一部保管場所

町長答弁 防災・減災体制をつくっていく上で、インフラの整備、住民の防災意識の向上が2つ合わさって初めて機能するもので、すぐに完璧なものをつくるのはなかなかできないが、体験を積みながら一歩ずつ、かつスピード感を持ち、具体的な施策を検討して、実行していきます。

燃料油価格高騰と

農業を軸にした地域内循環について問う



1番議員

前川 文洋

燃料油価格などの上昇の影響について



中東情勢の悪化により国の原油調達の不確実性が高まっている。

1. 質問 どの程度のリスクとみているか。

町長答弁 資材高騰が長期化すれば町政全体に深刻な影響を及ぼす。そこまで危機感はないが他市町村と横並びとなるよう、国・県の施策に機敏に対応する。

2. 質問 主要な事業は影響を受けるか。

町長答弁 事業ごとに事情が異なるため、現時点で個別分析はしないが、執行時に仕様変更等で対応し、必要なら補正予算で対応する。

3. 質問 予算が不足する場合、事業の縮小や延期の判断基準はあるか。

町長答弁 明確な判断基準はない。なお国の財源の事業は、返還の問題や次回が有るか分からないので、簡単には止められない。

4. 質問 長期金利が上がっている。財政は対応できるか。

町長答弁 町民の生命・財産を守ることに、持続的な発展の両面をみている。実質公債費比率18%以下と、財政調整基金が標準財政規模の20%程度超を維持する。金利上昇には、事業を抑えることで対応。

農業政策を中心とした地域内経済について



町長答弁 産業建設課で個別相談に応じている。

産業建設課長答弁 地域や個人から「こういう農業がしたい」という目指す姿を伝えてくれると対応できる。ゆくゆくは奥大山農業公社（以下公社）がその役割を担えたら良いが、農林事業の要綱・要領は複雑なので人材育成が必要。

2. 質問 「農業を核とした二地域居住促進事業」では、どのように農地や指導者とながるのか。

町長答弁 公社が重要な位置を占める。これを立て直していく。

産業建設課長答弁 福井県のかみなか農楽舎を参考に、「江府町にはこういう研修制度があるんだ」という形を作りたい。いま公社は作業受託しか出来てないが、受け手のない農地が増えてきたので、これからは公社自身で農業経営を大きくやっていく必要がある。研修生の実習場にもなる。

3. 質問 町政の基本設計を外部への依存を減らし、地域内

循環を増やすべきではないか。

町長答弁 外部依存の解消は現実的でないが、町内農産物の学校給食・福祉施設での活用、堆肥セクターは実現している。小水力発電などエネルギーの地産地消も有力。サーモン残渣の肥料化など、町内で回す仕組みを検討したい。

4. 質問 環境を大切にしている江府町だから、オーガニックビレッジやみどり戦略など有機転換に力を入れてはどうか。

町長答弁 そういう方向で環境を大切にしながら価値の高い農産物を作り、大消費地に運ぶ流れをつくりたい。



令和8年7月撮影

全員 協議会

6/15

サーモン養殖事業

予算規模,財源内訳

3ヶ年総計
3億1,962万2,000円を予定

- ・ 国費（交付金）
1億4,323万4,000円
- ・ ふるさと納税基金
1億5,123万4,000円
- ・ 一般財源 505万4,000円
- ・ 交付税 2,010万円

役割分担

【株式会社奥大山サーモン】
養殖施設管理、アクアポニックス（循環型農業）、ブランド化、販売開拓、地域商社機能の担い。

【江府町】
施設整備、地方創生交付金等の財源確保、地域おこし協力隊の募集、事業への伴走支援。



※サーモン養殖イメージ図

施設の使用料

施設の使用料については貸付形態を想定し、他施設の事例（道の駅等）を参考にシミュレーションを実施。月額10万円から開始し事業拡大に応じて最終的に月額30万円程度を徴収する方向で検討している。

議会からの提案

審議を通して、以下の課題が抽出された。

1. 透明性の確保
公募を行わない正当性を住民に納得させるための論理構築（熊本での技術習得の経緯等）
2. 契約の明文化
不信感払拭のため施設使用料の算出根拠を確定させ、早期に協定書または覚え書締結すること。

事業主体

株式会社奥大山サーモン
資本金 1,000万円

出資者 川端雄勇, 住田孝昭
川上登, (株)デジタル&エンターテインメントワークス,
(株)山陰合同銀行

見込まれる波及効果

本事業は単なる養殖業に留まらず、以下の「地域商社的役割」を通じて町の活性化を図る。

1. 雇用の創出と移住促進
新たな「なりわい」による仕事の確保と協力隊の定住。
2. 資源の高付加価値化
江府町の水をブランド化し、ふるさと納税返礼品や観光コンテンツへ展開。
3. 創業の連鎖（波及効果）
第2、第3の創業を誘発する「挑戦を支える風土」の醸成。



町の大切な相談役

みしろ のぶゆき
三代信行 氏(美用)
(全会一致で同意)

「人権擁護委員」

新しく推薦された候補者について今議会において、以下の候補者を推薦することについて審議され、議員全員の同意が得られました。

※人権擁護委員とは、地域の中で人権に関する相談を受けたり、人権の大切さを広めたりする、法務大臣から委嘱されて活動する民間のボランティアの方々です。

変化を続ける議会に注目!



※イメージです

住民懇談会について

次回は11月に開催



※イメージです

令和8年度 地方行政調査 について

調査個所について
「学び」の計画
早急に決定する



※イメージです

審議に係る質疑回数 について

1議題につき質疑回数3回の
規定を今後継続審議する



※イメージです

予算決算資料の 事前提出と事項別 事前質問について

10日前には資料の提出を
受け事前に質問を通知する

江府町議会は今、これまでの慣例を一つひとつ見直し、より住民の皆さんに近く、より機能的な組織へと生まれ変わろうとしています。

水が出るか? 23メートルの挑戦!

一部事務組合
議会の報告

敷地内からの撮影



掘削
予定地



敷地の外からの撮影

《《《

日野町・近藤新町長が副管理者に
就任され、「日野川流域という大
きな視点での連携」への想いを全
員協議会で語られました。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出そ
れぞれ455万1000円を追加
する。
清化園水源である井戸等が国道1
81号線改良工事で支障物件とな
り移転が必要となった。電気探査
の結果、第一候補、清化園敷地内
北側、第二候補、清化園敷地内西
側水源の移転補償として返還され
ます。

令和8年度日野町江府町日南町衛生
施設組合会計補正予算(第1号)

日野町江府町日南町衛生施設組合
臨時会6月22日(月)開会

国道181号改良に伴う
「水源探査」プロジェクト始動

皆様から寄せられた **陳情**を

常任委員会で審査

しました



衆議院議員の定数削減 に反対する陳情

平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会
代表世話人 村上俊夫

結果:継続審査

(結論を急がず、慎重に審議を続けること)

地方議会の立場から国政の定数を判断することは非常に困難かつ慎重を要するため「今しばらく時間をかけて議論を深めるべき」との結論に至りました。

総務経済

生活保護基準引き下げ 違法の最高裁判決を踏 まえ速やかな対応を求 める陳情

鳥取県生活と健康を守る
会連合会 会長 安田 共子

結果:趣旨採択

(要望の趣旨には賛成するが、特別な措置はとらないこと)

国において解決に向けた具体的な手続きが進行しているものの、要望の趣旨そのものは妥当であるとして「趣旨採択」となりました。

教育民生

mRNAワクチン(レプリ コンワクチンを含む)接種 事業中止の意見書提出を 求める陳情書

宇井 淳

結果:不採択

(議会として賛成できないこと)

接種と被害の因果関係や疫学的根拠について現時点で、科学的・客観的な根拠が不十分なまま「全国一律で中止すべき」と判断することはできないとの結論に達しました。

教育民生

農家・生産者への所得 補償制度の法制化を求 める陳情書

全日本農民組合鳥取県連合会
会長 鎌谷 一也

結果:採択

(議会として賛成し、国へ要望すること)

生産コストと販売価格の差額を補填する仕組みは、極めて有効な制度設計で中山間地域の多様な担い手を対象としている点が、町の実情にも合致しています。

総務経済

地方財政の充実・強化 を求める陳情

自治労鳥取県本部 執行委員長
三浦敏樹 江府町職員労働組合
執行委員長 齊鹿利恵

結果:採択

(議会として賛成し、国へ要望すること)

自治体の役割が広がる一方で、人員は圧倒的に不足しています。行政コストの増大に耐え、公共サービスを維持するため一般財源総額の確保と地方財政の抜本的な充実が不可欠であると判断しました。

総務経済

議長、副議長の

研修レポート

毎年5月下旬に議長・副議長は東京へ研修に行きます。
全国から集まった正副議長と一堂に会します。

令和8年度 町村議会議長・副議長研修会(全国会主催)

議会の重責を担う議長及び副議長を対象に、住民の代表機関として町村議会が果たすべき役割の重要性や課題について研修を実施し、それぞれの議会の一層の活性化を目指すことが目的です。

以下の講師のお話を聴講しました。
東海大学教養学部人間環境学科教授

万城目正雄 氏

京都女子大学学長

竹安栄子 氏

宮城県蔵王町議会議員

伊藤雅代 氏

一般財団法人地域活性化センター

理事長 林崎理 氏



5月26日(火) 東京都



西部町村議会議長・副議長、局長合同研修会

本会で地元選出県議会議員との懇談会や、鳥取県議会におけるICT化など先進的な取り組み、改修された本会議場等の施設整備状況について学ぶことが目的です。

7月17日(金) 鳥取市



7月臨時会 7/28(火)

インフラの維持と、 新産業施設

今回の臨時会では、①除雪車両の購入や②トンネルの修繕工事の契約に加え、③旧米沢小学校を活用した「サーモン養殖事業」に関する施設の貸付契約、④介護施設の防火壁修理のための補正予算、⑤固定資産評価審査委員の選任や⑥選挙管理委員会委員及び補充員の選挙といった議案を審議しました。

Point!!

「サーモン養殖事業」に関する施設の 貸付契約について

反対討論、
賛成討論が
交わされました



加藤議員

賛成

旧米沢小体育館を活用する本事業は、町との信頼関係に基づき提案され、貸付料の適正性は先例に照らしても妥当であり、新たな特産品のブランド化による地域活性化に大きな期待をし、雇用の創出や町全体の活性化につながると考えます。



前川議員

反対

サーモン事業そのものには期待しています。しかし、事業者非公募の合理性がみられず、公益性に関する契約条件の有無も不明で、また貸付料年120万円も施設整備費に対して低すぎる。一般的に適正対価であると言えない。よって議会が同意できる要件を満たしていません。

採決の結果、起立多数により原案通り可決されました。

政治倫理条例関係の報告 (政治倫理条例第5条により報告と掲載)

受付日	令和8年5月7日
企業名	株式会社コーセン
議員と企業との関係	代表取締役
契約の内容	県道道路維持工事
請負の方法	指名競争入札
契約金額	654万5,000円

受付日	令和8年5月7日
企業名	株式会社コーセン
議員と企業との関係	代表取締役
契約の内容	江府町内道路維持工事(4工区)
請負の方法	随意契約
契約金額	245万3,000円

私のひとこと



組・旅館・おともちきり
おきッ者主と筆者

『甘酒茶屋』と
うまいもんまつり
岡本幸枝

秋は特に素晴らしい奥大山スキー場エリア、私の一番大切な場所です。

昭和40年代、私が小学生だった頃。おかもと一行は御机の大成原（現エバーランド奥大山）の駐車場でお蕎麦でおもてなしのテントの店を出し、沢山のお客様で賑わいました。

昭和46年、国民宿舎『甘酒茶屋』がオープン。厨房を両親が任されたこともあり、十代の夏休みは避暑地生活を楽しみました。

た。鍵掛峠までの早朝散歩が懐かしい！

約30年で地ビールレストランへ、さらに約10年を経て平成19年から冬季レストランをおかもとが担うことになり、素晴らしい雪景色とともに7年間走り続けました。奥大山は子どもの頃から私たち家族の歴史が詰まった大切な場所です。

平成26年、秋の美しい景色を多くの方に知っていただきたい。そんな思いから地域おこし協力隊一期のみんなと、同時期に移住してきた人、またご縁のあった米子の和洋菓子店のみなさまに協力いただき『奥大山女子まつり』が始まりました。夏には『奥大山ロックフェス』で、緑に囲まれた穏やかな時間を来店者も楽しめます。そして秋には、多くの人に親しまれてきた『奥大山うまいもんまつり』。一年で最も多くの方が奥大山を訪れるこの季節、お祭りは県内外のお客様を迎え地域の魅力を伝える大切な場です。



両親と伯母
（甘酒茶屋にて昭和50年頃）

今年の開催が心配されると耳にしましたが、私たち出店者もお客さまも、その開催を願っています。形は変わっても、知恵を出し合い協力し合いながら、この大切な交流の場が未来へつながっていくことを願っています。

編集後記

森田哲也

暑い暑い日が続きます。体調管理がとても難しく、全国で熱中症患者の記事が後を絶ちません。先般のテレビ放送で、地球のあちこちで温暖化対策が行われていますが、しかしその努力も、地球の各地で起きている戦争で、その何十倍もの破壊が起きているということです。また、軍事訓練だけでも、温暖化対策の努力が、無駄になるくらいの破壊行為になるそうです。しかも、戦争は両方の国とも大きな破壊となり、悲しい結果になってしまっただけです。世界平和は、人類みんなの願いですが、地球に対してもやはり大切な願いです。私たちが生活するこの郷土は、本当に素晴らしい環境であり、是非とも次世代に残していきたいと強く感じます。そして、大きな責任も感じるところです。



広報公聴常任委員会

委員長

副委員長

委員

川端登志二

森田哲也

芦立喜男

川端裕

前川文洋

議事事務局